

令和5年度学校評価（職員用） 1学期集計結果

※各項目については全校的視野に立って評価してください。

1：改善が必要 2：やや改善が必要 3：おおむね良い 4：大変良い

重点目標	努力点	評価項目	平均
1 特色ある教育活動の推進	教育目標・経営方針	1 学校教育目標を全職員が共通理解し、具現化のための共通実践がなされている。	3.0
		2 前年度・前学期の教育活動の成果や課題を、改善点として生かしている。	2.8
	教育課程の実現	3 授業時数を確実に確保し、教科の進捗は計画通り実施している。	3.2
		4 学校行事や教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の工夫と改善に努めている。	3.1
	校訓の実現	5 教育活動を通して、本校の校訓『やればできる』『自主、気魄、創造』の実践化を図っている。	3.0
	特色ある開かれた学校づくり	6 生徒や地域の実態等に応じた「生きる力」を育む特色ある教育課程を編成・実施し、その適切な評価と改善に努めている。	2.8
		7 学級・学年通信・学校便り等で学校の積極的な情報提供に努めている。	3.3
		8 PTAや地域の行事に進んで参加し、その情報を教育活動に生かしている。	2.8
2 確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識及び技能の定着 思考力・判断力・表現力等の育成	9 基本的な授業のしつけの定着を図り、自らすすんで学習する態度の育成に努めている。	3.0
		10 「学ぶ力」の育成と「分かる授業」を目指した学習指導法の工夫・改善等に努めている。	3.0
		11 学習目標を板書し、基礎的・基本的な内容の確実な定着及び活用力の向上に努めている。	3.1
	指導法の工夫・改善	12 教材の精選や工夫、個に応じた指導の充実を努めている。	3.1
		13 生徒の学習状況を適切に評価し、指導と評価の一体化を図っている。また、適切に自宅学習の課題を与えている。	2.9
3 道徳教育と人権教育の充実を基盤とした積極的な生徒指導の推進	生徒理解に基づく生徒指導の推進	15 生徒指導方針を共通理解し、教職員一体となった生徒指導体制が確立されている。	2.9
		16 基本的な生活習慣を定着させ、規律の確立と自主的行動力の育成に努めている。	2.8
	いじめや暴力行為等の問題行動を許さない学校 不登校生徒への支援	17 いじめや問題行動、不登校問題に迅速かつ適切に対応・支援する校内態勢ができています。	3.0
		18 教育相談や日常観察、生活の記録等を通して、問題行動やいじめ、不登校の早期発見と防止に努めている。	3.1
	外部機関等との連携	19 家庭・地域や関係機関、SCやSSW等との緊密な連携を図り、指導効果の向上を図っている。	3.0
	道徳教育の充実	20 道徳科の目標に即した授業（考え・議論する道徳）の実践に努めている。	2.9
		21 福祉・ボランティア等の教育活動を積極的に取り入れ、ボランティア精神の高揚を図り人間的な心のふれあいを深めている。	2.6
	特別活動の充実	22 学級活動を計画的に実践し、生徒が主体的に生活の充実と向上を図ろうとする態度を育成している。	2.9
		23 学校生活の充実と向上を目的とした主体的に参画する生徒会活動の充実を努めている。	2.8
	人権同和教育の充実	24 基本的な人権を尊重し、一人一人を大切にされた教育活動や人権感覚を育む指導に努めている。	3.0
25 人権同和教育についての研修を深め、教科・領域指導、学級経営を通して人権同和教育を推進している。		2.8	
読書活動の充実	26 読書指導を充実させ、読書習慣の定着を図っている。	3.0	
4 学校体育や健康教育・安全教育の充実及び食育の推進	体力の向上と健康教育の充実	27 教科体育や部活動の充実を図り、体力の向上や運動やスポーツに親しみ・実践する能力の育成に努めている。	3.0
		28 健康教育及び保健学習の充実を図り、健康で安全な生活を創造できる資質や能力の育成に努めている。	3.0
	安全指導と事故防止の徹底	29 安全点検・安全指導を充実させ、校内や登下校時の安全確保に努めている。	3.1
		30 学校生活における危機管理体制を確立し、生徒の事故防止及び安全管理・確保に努めている。	2.9
	保健指導の徹底	31 計画的実践によって、保健指導の充実（性に関する指導や歯治療等）を図っている。	3.0
食育の充実	32 食に関する指導の充実を図ると共に、適切な給食時間の指導の充実（残食一割減運動等）に努めている。	2.8	
5 教職員の資質の向上	校内研修の充実	33 教科部会や領域部会を充実させ、指導内容や指導法の研究を推進している。	3.0
		34 研究主題や研修計画に基づき、研修が推進され、充実が図られている。	2.9
		35 授業を通じた研修、生徒指導や特別支援教育に関する事例研究を重視した研修を推進している。	3.0
	服務規律の厳正確保	36 事務の適切な遂行、情報管理等を含め、服務規律の厳正確保に努めている。	3.2
校外研修の充実	37 研修成果が教育活動の中で活用されている。	2.8	
6 その他	特別支援教育の充実	38 特別支援教育に対する理解を深め、コーディネーターを中心としたサポート態勢ができています。	2.7
		39 交流学級との連携を密にし、交流学習の充実を図るとともに、養護学校等との交流教育の推進に努めている。	2.8
	キャリア教育の充実	40 各学年段階に応じた進路指導を計画的に実践している。	3.0
		41 進路情報の収集と活用を図り、進路指導を充実させ、進路選択能力の育成に努めている。	3.0
		42 キャリア教育講演会や職場体験学習等の啓発的体験活動の工夫と充実を努めている。	3.1
	環境教育の推進と環境の整備	43 身近な事象に着目させ、全教育活動全体で環境教育（ISO活動等）に努めている。	2.7
		44 ごみの分別や体験活動（PTAリサイクル等）を通じ、意識や行動力（ゴミステーションの運用等）を培っている。	2.7
		45 清掃美化の徹底を図り、掲示活動等を充実させ、環境整備や美化に努めている。	2.8
	業務改善の推進	46 健康に留意するとともに、適正な勤務時間管理（業務改善の意識化）に努めている。	2.8
47 業務の簡素化・効率化を推進するとともに、定時退校日や週2日ノ一部活動の遵守に努めている。		2.7	